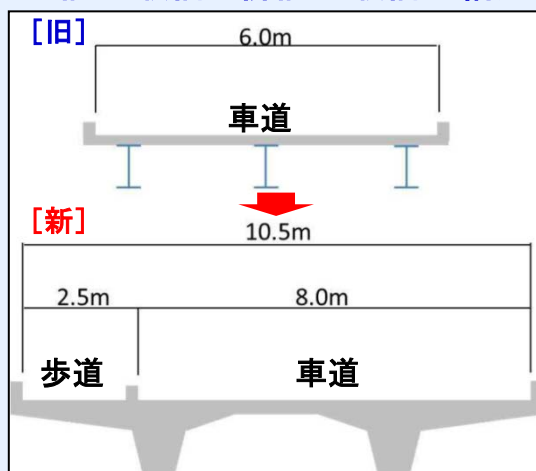




主要地方道一関北上線 『柵の瀬橋』 開通



旧柵の瀬橋と新柵の瀬橋の構造



11月11日(日)に、一関市中里、舞川両地区を結ぶ主要地方道一関北上線『柵の瀬橋』が開通しました。2013年度の事業開始から5年8ヶ月を経ての完成です♪

旧柵の瀬橋は1962年度に竣工、55年が経過して老朽化が著しいほか、幅員も狭く歩道もありませんでした。岩手県では国土交通省の一関遊水地事業と関連して整備を進めており、地域間の交流連携を図る他、災害時における緊急輸送路の役割も担っております。

【事業概要】

- 発注者: 県南広域振興局 土木部
- 事業名: 地域連携道路整備事業
- 事業期間: 2013年～2020年
- 総事業費: 約78億円
- 延長: 1,313m うち橋梁部 693m
(県管理橋梁で2番目に長い橋)
- 幅員: 車道6.5m 歩道2.5m



◆編集後記◆ 一関遊水地の上を通る鉄道橋ですが、中央付近は夜になると街の明かりも届かず、遊水地内の街灯も少ないため、通過していく新幹線が浮いているように見えて、不思議な感じがするんですよ♪(や)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～